

中学校国語

解答用紙

組

番号

氏名

1

鋼鉄や鉄筋コンクリート
の橋
二
2
三
3

四 擬人法（ぎじんほう）

自	そ	威	し	一
然	の	に	て	流
と	反	対	い	れ
上	面	し	る	橋
手	自	て	橋	一
に	然	は	一	を
つ	か	、	と	一
き	ら	ど	書	自
合	恩	う	い	然
っ	恵	す	て	の
て	を	る	い	猛
い	受	こ	る	威
き	け	と	。	が
た	る	も	人	収
い	こ	で	間	ま
。	と	き	は	る
	も	な	自	ま
	あ	い	然	で
	る	が	の	我
	。	、	猛	慢

100 80

2

一	中	でも	絵	本	の	読	み	聞	か	せ	は	、	と	て	も	印	象	に	残	っ	て	い	ま	し	た	。	
↓	残	っ	て	い	ま	し	た	。																			

三

（例）お誕生日会の準備 についての記事

四（正答例）

の	に	ま	イ	ア
先	っ	ず	調	幼
生	い	、	べ	稚
に	て	職	る	園
尋	書	業	①	の
ね	か	に	（	先
る	れ	関	）	生
。	た	す		に
	本	る		は
	を	本		ど
探	の	の		う
し	中	か		す
、	か	ら		れ
な	ら	幼		ば
け	稚	園		の
れ	園	の		先
ば	園	生		館
図	の			
書	先			
館	生			

50

20

3

一	3
二	4
三	エ

4

一	や	し	な	い	け	る		
二	す	る	こ	と	も	な	く	て

5

一	1	発	展
二	3		
三	3		
四	イ		
五	1		
六	2		
七	ウ		
八	2		
九	3		
十	ふ		
十一	る		
十二	っ		
十三	て		
十四	三		
十五	ア		
十六	ア		
十七	学		
十八	習		
十九	委		
二十	員		
二十一	会		
二十二	の		
二十三	来		
二十四	月		
二十五	開		
二十六	か		
二十七	れ		
二十八	る		
二十九	全		
三十	国		
三十一	大		
三十二	会		
三十三	に		
三十四	出		
三十五	場		
三十六	五		
三十七	3		

30

20

左の表には記入しないこと

学	校	名
一		
二		
三		
四		
五		
六		
七		
八		
九		
十		
十一		
十二		
十三		
十四		
十五		
十六		
十七		
十八		
十九		
二十		
二十一		
二十二		
二十三		
二十四		
二十五		
二十六		
二十七		
二十八		
二十九		
三十		
三十一		
三十二		
三十三		
三十四		
三十五		
三十六		
三十七		
三十八		
三十九		
四十		
四十一		
四十二		
四十三		
四十四		
四十五		
四十六		
四十七		
四十八		
四十九		
五十		
五十一		
五十二		
五十三		
五十四		
五十五		
五十六		
五十七		
五十八		
五十九		
六十		
六十一		
六十二		
六十三		
六十四		
六十五		
六十六		
六十七		
六十八		
六十九		
七十		
七十一		
七十二		
七十三		
七十四		
七十五		
七十六		
七十七		
七十八		
七十九		
八十		
八十一		
八十二		
八十三		
八十四		
八十五		
八十六		
八十七		
八十八		
八十九		
九十		
九十一		
九十二		
九十三		
九十四		
九十五		
九十六		
九十七		
九十八		
九十九		
一百		
組		
番		
号		
氏		
名		

採 点 要 領

2

設問一
別解なし。

設問二
別解なし。

※ア〜ウすべてできているものを正答とする。

設問三

正答の条件は次の二つとする。

- ① 手紙で扱っている次の事柄等をふまえて書いている。
 - ・ 幼稚園の先生としての誇りと使命感
 - ・ 自分のこれからの生き方
 - ・ 先生方の園児への接し方
 - ・ お誕生日会の準備 等
- ② 「・・・についての記事」につながる形で書いている。
 - 「朝のお迎え」「朝の体操」「お遊び」「食事や帰りのお見送りの世話」「絵本の読み聞かせ」については、レポートの記事にしているため、これらを選んで書いている場合は不可とする。

設問四
次の条件を満たして解答している。
① **ア**に幼稚園の先生について、さらに調べたいことを一つ書いている。
② **イ**の①から③までの中のいずれか一つの**〈調べる手段〉**を選んで、その記号を書いている。
※③を選んだ場合は、()の中に調べる手段を書いているものとする。
③ **イ**に、選んだ手段を用いて、**〈どのよう〉にして情報を集めるのか**を書いて

- ④ **イ**に、二十字以上、五十字以内で書いている。

1

設問一
抜き出すことを条件としているため、別解なし。

設問二
別解なし。

設問三
別解なし。

設問四

比喩(ひゆ)、たとえも可。
漢字・ひらがなのどちらでもよいが、正しく表記されていない場合は不可とする。

設問五

正答の条件は次の三つとする。

- ① 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

なお、引用箇所を省略して書いているもの(「○○○○」も正答とする。
また、漢字の正誤、脱字・句読点等は、今後の指導に生かすこととし、誤りがあっても可とする。なお、一マス下げても同じく可とする。

採 点 要 領

1

設問一
抜き出すことを条件としているため、別解なし。

設問二
別解なし。

設問三
別解なし。

設問四

比喩(ひゆ)、たとえも可。
漢字・ひらがなのどちらでもよいが、正しく表記されていない場合は不可とする。

設問五

正答の条件は次の三つとする。

- ① 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

なお、引用箇所を省略して書いているもの(「○○○○」も正答とする。
また、漢字の正誤、脱字・句読点等は、今後の指導に生かすこととし、誤りがあっても可とする。なお、一マス下げても同じく可とする。

4

設問一
別解なし。

設問二
別解なし。

5

設問一

- 1 別解なし。
- 2 別解なし。
- 3 別解なし。

設問二

ア〜ウ 別解なし。

設問三

別解なし。算用数字は不可とする。

※A・Bともにできているものを正答とする。

設問四

Aについては、同趣旨の解答可。例…学習委員会による
Bについては、別解なし。

※A・Bともにできているものを正答とする。

採 点 要 領

1

設問一
抜き出すことを条件としているため、別解なし。

設問二
別解なし。

設問三
別解なし。

設問四

比喩(ひゆ)、たとえも可。
漢字・ひらがなのどちらでもよいが、正しく表記されていない場合は不可とする。

設問五

正答の条件は次の三つとする。

- ① 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

なお、引用箇所を省略して書いているもの(「○○○○」も正答とする。
また、漢字の正誤、脱字・句読点等は、今後の指導に生かすこととし、誤りがあっても可とする。なお、一マス下げても同じく可とする。

4

設問一
別解なし。

設問二
別解なし。

5

設問一

- 1 別解なし。
- 2 別解なし。
- 3 別解なし。

設問二

ア〜ウ 別解なし。

設問三

別解なし。算用数字は不可とする。

※A・Bともにできているものを正答とする。

設問四

Aについては、同趣旨の解答可。例…学習委員会による
Bについては、別解なし。

※A・Bともにできているものを正答とする。

採 点 要 領

3

設問一
別解なし。

設問二
別解なし。

設問三
別解なし。

設問四

比喩(ひゆ)、たとえも可。
漢字・ひらがなのどちらでもよいが、正しく表記されていない場合は不可とする。

設問五

正答の条件は次の三つとする。

- ① 引用する部分をかぎかっこ(「」)でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

なお、引用箇所を省略して書いているもの(「○○○○」も正答とする。
また、漢字の正誤、脱字・句読点等は、今後の指導に生かすこととし、誤りがあっても可とする。なお、一マス下げても同じく可とする。

4

設問一
別解なし。

設問二
別解なし。

5

設問一

- 1 別解なし。
- 2 別解なし。
- 3 別解なし。

設問二

ア〜ウ 別解なし。

設問三

別解なし。算用数字は不可とする。

※A・Bともにできているものを正答とする。

設問四

Aについては、同趣旨の解答可。例…学習委員会による
Bについては、別解なし。

※A・Bともにできているものを正答とする。

設問五

別解なし。

設問六

平成二十四年度全国学力・学習状況調査 小学校A 7の問題
正答の条件は次の三つとする。

- ①【取材した内容の一部】の③と④に書かれている内容をまとめている。
- ②書き出しの言葉に続けて、一文で書いている。
- ③二十字以上、三十字以内で書いている。

また【取材した内容の一部】の③の中の「金賞」、同じく④の中の「全国大会に出場する」という言葉に触れて解答しているものを正答とする。④の中の「来月開かれる」は、内容の中心的事柄ではないと判断できるため、触れていなくても正答とする。

なお、文体は常体・敬体どちらでも可とする。